

県土整備農林水産委員会・県外視察報告

1 調査日

令和6年11月18日（月）～11月20日（水）

2 出席委員等

安達孝彦委員長、鍋嶋慎一郎副委員長、寺口智之委員、川島国委員、山崎宗良委員、中川忠昭委員、菅沢裕明委員（その他、執行部から参加）

3 調査の概要

○令和6年11月18日（月）

（1）ヤエスイ合同会社

調査項目：持続可能な漁業について

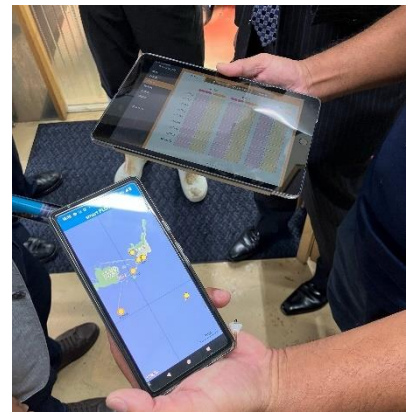
応 対 者：ヤエスイ合同会社

内 容：ヤエスイ合同会社では、漁獲直後から消費者に届くまでマイナス1℃の低温に保つことで鮮度を維持し、広域流通や長期保存が可能となる物流方式の確立に取り組んでいる。また、漁船の位置や漁獲状況等をリアルタイムで共有するシステムを導入し、高品質・適正価格での提供や業務の効率化を図っている。

それらの取組について説明を受けた後、施設設備及び機器の見学を行った。



施設見学の様子



共有システム

○令和6年11月19日（火）

（1）有限会社やえやまファーム 幸福牧場

調査項目：循環型農業、6次産業化について

応 対 者：有限会社やえやまファーム 畜産部

内 容：やえやまファームでは、家畜の糞尿から堆肥を作り、農作物を育て、農産加工・販売を行い、その残渣を飼料に還元する、畜産と農業をリンクさせた循環型農業を実践している。

同社が目指す「循環型6次産業」の取組について概要説明を受けた後、牛舎・豚舎や牧草地、堆肥施設等の見学を行った。



牛舎見学の様子



農産加工残渣を活用した飼料

(2) 有限会社八重泉酒造

調査項目：泡盛の販売、海外展開について

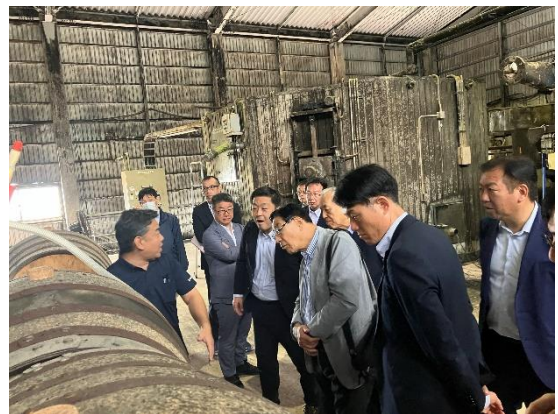
応 対 者：有限会社八重泉酒造

内 容：八重泉酒造では、自社商品のブランディングとして、国内外のコンペティションへの参加や高付加価値商品の開発に積極的に取り組み、国内外から高い評価を受けている。

海外での泡盛の知名度向上や販路開拓等の取組について説明を受けた後、工場見学を行った。



説明時の様子



工場見学の様子

(3) 石垣市役所

調査項目：①公共建築物における木材利用について

②石垣牛のブランド化について

応 対 者：①総務部契約管財課

②農林水産商工部畜産課

内 容：①令和3年より供用開始された新庁舎及び議場では、内装に地元産材のリュウキュウマツがふんだんに使用されている。市庁舎及び議場を見学し、地元産材の調達方法や使用にあたっての工夫について説明を受けた。

②石垣牛は、平成13年の沖縄サミット晩餐会で食されたことで名声が高まり、地域団体商標「石垣牛」を特許庁より登録許可された

ことでさらに需要が増え、沖縄を代表する名産品となった。
ブランド化に至るまでの取組や、品質確保のための管理体制の徹底、
生産推進の支援等について説明を受けた。



調査項目①：議場見学の様子



調査項目②：説明時の様子

○令和6年11月20日（水）

（1）沖縄県庁

調査項目：循環型農業、6次産業化について

対応者：農林水産部流通・加工推進課、商工労働部グローバルマーケット戦略課

内容：沖縄県では、成長著しい香港やシンガポール等アジア圏への地理的優位性から、輸出に関する積極的な取組が行われているが、農産物については、アジア諸国の生産品目との類似・競合や、地方間での競争激化、安定的な輸出量の確保等の課題を抱えている。
そうした課題に対応するため県が実施するプロモーションやマーケティング、ブランディング推進、輸出産地支援等について、説明を受けた。



説明時の様子



議事堂前にて

（2）内閣府沖縄総合事務局

調査項目：道路事業（「ハシゴ道路」の整備）について

対応者：開発建設部、南部国道事務所那覇空港自動車道出張所

内 容：内閣府沖縄総合事務局では、交通問題を解消するため「ハシゴ道路」の整備を推進しており、渋滞状況の改善や各地から空港までのアクセス時間の短縮、高速道路 I C までのアクセス時間の短縮、交通需要の分散などの効果が期待されている。
整備計画の概要や今後の見通しについて説明を受け、現在進められている小禄道路の橋梁基礎工の現地見学を行った。



説明時の様子



現地見学の様子

